

週報

三島南ロータリークラブ



三島南ロータリークラブ

会長 田中四史生

クラブ会長基本テーマ

「みじかな奉仕を
たいせつに」

撮影 上高地



RI会長テーマ:「率先しよう」

2006~2007年度
国際RI会長 ウィリアムB.ボイド

会長 田中四史生

副会長 古屋憲男

幹事 矢岸貞夫

事務所 三島市大社町17-4

TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352

URL: <http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル

TEL 055-975-4300

毎週金曜日 第1・第3夜間例会

Rotary Club of Mishima-South Weekly Report

●第834回 例会 2006.11.10 晴れ●

司会 西山雅子さん 指揮 遠藤正亀君

ロータリーソング 「日も風も星も」

会長挨拶

会長 田中四史生君

木内さんから頂いた分厚い日めくりのカレンダーがだいぶ薄く成ってきました。来年がすけて見えるのも間近です。

なかなか見えて来ないのが北朝鮮問題です。スカッド、ノドン、テポドンと焼酎割りの名前のようなものが韓国、日本に向けて並んでいるようです。スカッドは射程距離500kmでとりあえず大丈夫です。ノドンとテポドンは日本全土が射程内で気になります。今のところ弾頭に搭載する核の小型化の技術は無いようです。現在5~6個持って今後1年ぐらいで十数個持つ能力があると推測されています。この「能力」を分析します。ミサイルに搭載する技術は無いが、核製造の技術はある。後はウランかプルトニウムをどれだけ持っているかと言う事です。北朝鮮では「能力」=「原料」です。

我が国では、核の議論をする事の善悪を論議しています。しかし議論と「能力」は違います。日本は非核三原則は堅持します(持ちこまず?)。しかし今長崎型原爆だと800個、その後1年に1000個の製造は可能です。このことを世界に誤解の無いように発言するべきです。ただ唯一の被爆国だから核反対では説得力に欠けます。もともと何が原因で被爆国になったかまで進むと、話がややこしくなります。

核に関しては「能力」=「製造」ではないことを訴えるべきだと思います。

幹事報告

幹事 矢岸 貞夫君

●18日、19日の地区大会出席義務者

集合時間、場所をお知らせいたします。

11月18日(土)

場 所 三島駅南口鈴木学園前

時 間 8時50分(時間厳守)

出 発 9時

11月19日(日)

場 所 三島駅南口鈴木学園前

時 間 7時20分(時間厳守)

出 発 7時30分

おめでとう

会員誕生日 岡 君 11月10日

西山さん 11月14日

入会記念日 山上君 11月 4日

遠藤君 11月14日

ゲスト・スピーカー

●蔡 飛 さん (米山奨学生)

●山岡 修一 君 (三島RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前回	30/39	76.92%	36/39	92.31%
今回	31/39	79.49%	会員総数	40名

【欠席者】(※あなたが見えなくて残念でした。)
石井(明)君 大房君 木内君 小林君 土屋君
松下君 山上君 山本(明)君

スマイルボックス

◇山岡修一君(三島RC):貴クラブのご指導により、新富士RCのカンボジアに自転車を贈る第1回の式典が無事終わりました。私は9/15~22まで、先乗り、後残りで自転車250台の組立てを手伝い、未だにギックリ腰が治りません。貴クラブの活動の輪が広がって行く事は素晴らしいです。

◇大房正治君:1日、検査入院ですので休ませて頂きます。11月13日(月)視覚障害者ゴルフコンペを行いますので参加の皆様よろしくお祈いします。

◇片野誠一君:連続ホームクラブ欠席して申し訳ありませんでした。

◇兼子悦三君:11/17、私の卓話です。先発隊でバンコクに出発しますので、財団月間の卓話として、静岡県立大学の近藤貴子さんをお願い致しました。どうか最後までご静聴下さい。

◇芹澤弥生さん:来週から香港です。次の例会はお休みさせていただきます。すみません。

◇古屋憲男君:当社イベント、社長就任イベントには、ロータリークラブとして、会長、幹事、副幹事、職業奉仕委員長の参加をいただき、それなりに実行出来ました。私は会長として頑張ります。これからもよろしくお願い致します。

◇山田定男君:本日、私の卓話です。ビデオで済ませます。借用代をスマイルします。

●健康を考える会

保坂 国夫 君

日 時 平成18年12月3日(日)

午前9時ミロクさん駐車場集合

場 所 伊豆市修善寺「紙谷和紙工房」

10時から和紙づくり体験

所要時間 1時間から1時間30分

料金1名 1000円

和紙づくり体験後石井さん知り合いのおそば屋で昼食、昼食後奥の院周辺を散策します。又、帰りには温泉に浸かって疲れを取りたいと思いますので入浴の準備をお願いします。

委員会報告

●ゴルフ同好会

岡 良森 君

11/13の視覚障害者チャレンジゴルフでは、ロータリアン受付用に現地で岡が対応しますので宜しくお願いします。

9月のコンペの優勝カップができましたので内田君に贈呈します。

卓 話

●補助人工心臓開発状況

山田定男君

1.日本人の死亡原因(2005年) (フジテレビ5月18日放映)

順位	原因	死亡人数
1位	ガン	32万人
2位	心臓病	17万人
3位	脳卒中	13万人

3.補助人工心臓で治療が可能な患者数(フジテレビ5月18日放映及び客先情報)

	年間の治療可能な患者人数	心臓病の患者数
日本	2,000~3,000	5万人
米国	50,000~100,000	50万人
ヨーロッパ		30万人

2.人工心臓の種類 (フジテレビ5月18日放映)

種類	メーカー	特徴	寿命
全置換型	アビオメド社米国で開発中	大型で移植が困難	
補助型	東京女子医大(サンメディカル研究所)テルモ	埋込実現し移植までの繋ぎ型 小型軽量化で在宅生活	5~10年

4.補助人工心臓開発状況

商品名	メーカー	認可	初例	臨床例
エバハート	東京女子医大	日・米で治験→認可→ヨーロッパ	2005/5/7	3例
デュラハート	テルモ	ヨーロッパで治験→認可→米国	2004/2/15	11例

5.エバハートの開発

- (1) 1990年3月埋込型補助人工心臓考案、世界各国に特許出願
- (2) 1991年4月東京女子医大山崎健二医師考案の補助人工心臓の実用化を目指してサンメディカル技研究所を設立。
- (3) 1997年9月動物実験で222日生存記録
- (4) 2005年5月7日人体埋込型移植を国内初めて実施
- (5) 以降3例の移植を実施し、患者ふたりが退院し在宅生活に戻った。
- (6) 2006年後半からコントロールボックス軽量化タイプの形状検討に入る。
- (7) 2007年度末頃より量産に入る計画。
- (8) 信頼性と耐久性を向上させ移植に変わる選択肢を持たせ、軽量化を進め子供にも移植可能に。

6.サント・サーフェイスの生産実績

- (1) 2004年2月よりコントロールボックスに電波シールド塗装を施し納入開始
- (2) 2006年5月現在で約800セットを納入した。
- (3) 2006年5月よりバックアップ用コントロールボックスも試作を開始した。